

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道477号 大布施拡幅 <small>おふせ</small>	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：京都市
起終点 ：自：京都市左京区花脊大布施町 <small>さきょう はなせおふせちよう</small> 至：京都市左京区花脊大布施町 <small>さきょう はなせおふせちよう</small>	延長 ：2.195km	
事業概要 ： 一般国道477号は、三重県四日市市から兵庫県池田市に至る延長約230kmの主要な幹線道路で、京都市域は約23kmである。大布施拡幅は、大阪・滋賀との連絡強化と一般国道162号、一般国道367号等の南北幹線道路を東西に結ぶ幹線道路ネットワークの一部である。		
H2年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H2年度用地着手
H2年度工事着手		
全体事業費 ：約35億円	事業進捗率 ：56%	供用済延長 ：0.8km
計画交通量 ：600台/日		
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 1.1 (残事業) 1.9	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 14/37億円 事業費 ：13/35億円 維持管理費 ：1/2億円
	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 27/42億円 走行時間短縮便益：26/41億円 走行費用減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：0/0億円	基準年 ： 平成16年
事業の効果等 ： ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間の解消） ・災害への備え（緊急輸送道路の通行止め時の代替道路の確保） 他6項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 ： 一般国道477号は、平成17年に予定されている京北町との合併による京北町域と京都市域の交流や連携を円滑に進める道路として、京北町から整備促進の要望（平成16年8月20日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ： 京都市左京区基本計画において、広域交通体系を整備・充実する道路として位置づけされる。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ： 既存集落部のルート案について地元協議に長期間を要したが、平成11年に協議が整った。一部の用地補償協議が難航しているが、現在までに0.8kmを部分供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ： 予算枠が伸びず、事業進捗に影響していたが、国道路線の絞り込みによる重点的な投資及び京北町との交流・連携を図る道路として、「京都市・京北町合併建設計画」に位置づけられたことから、重点的に事業進捗を図る。		
施設の構造や工法の変更等 ： 切土区間と盛土区間を同時期に施工し、掘削土砂の流用を積極的に行う等コスト縮減を図っている。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。